

2023/11/13 (月)

朝の礼拝

聖書 イザヤ書 43章 4節 (旧約聖書1130頁)

わたしの目にあなたは価高く、貴く
わたしはあなたを愛し
あなたの身代わりとして人を与え
国々をあなたの魂の代わりとする。

愛している

このわずか一節、四行の中に「あなた」が四回出てきます。それもあなたがたと複数ではなく、あなたと単数で、あなた、あなた、あなた、あなたと四回繰り返しているのです。わたしとは主なる神様です。そしてあなたとはこの歌を歌って、祈っているイザヤ自身です。

「わたしの目にあなたは価高く、貴く」とは、よく赤ちゃんを見て、目に入れても痛くないほど「かわいい」と言います。それと同じように神様がわたしを慈しんで、わたしを見つめている。そして神様はわたしに「愛している」と言って下さっていると、イザヤは歌っています。

なぜ、イザヤ自身がこれほどまでの神様の深い愛を感じたのでしょうか。それは「あなたの身代わりとして」「あなたの魂の代わり」とあることからわかります。イザヤは、わたしは何度も神様を裏切った。それなのに、神様は何度もわたしの身代わりになって、わたしを赦し、愛して下さったと気づいたのでした。

わたしは人を赦せない時があります。何度も裏切り、裏切られ、信じられなくなります。でも神様はわたしをそのようには見ていません。赤ちゃんが何もできないように、わたしが何もわかっていない、隣人を愛せないことも知っています。それでも神様はわたしを愛し続けます。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、あなたはイザヤを通して、絶えることのないあなたの愛と赦しを伝えてくださいました。どうかわたしたちの愚かと過ちを赦し、互いに赦し愛して共に歩ませてください。どうかひと時でも早く愚かな争いを止め、幼いのちが守られますように、あなたの平和のためにわたしたちを用いてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン